

生ごみからのガス回収と減量化 食品系廃棄物の小規模メタン発酵装置

技術分野分類 64060：持続可能システム

技術キーワード 4：バイオマス利活用

産業分類 R-88：廃棄物処理業

内 容	概 要	小規模に発生する含水率の高い食品残渣を、メタン発酵によりバイオマスエネルギーとして利用する。メタンガスの回収と同時に、減量化および堆肥化を実施することができる。
	従来技術・ 競合技術 との比較 (優位性)	下水処理場の汚泥処理やし尿処理に利用されていたメタン発酵技術は、食品リサイクル法の施行により食品加工の際に発生する動植物系残渣にも利用されるようになった。従来は規模の大きなメタン発酵が実施されたが、利用率を向上するため小規模のものが求められる。
	本技術の 有用性	水分の多いバイオマス系の廃棄物で、メタンガスを回収しながら減量化ができる。発酵後の残渣は、堆肥または土壌改良剤としての利用が期待できる。分解性の高い残渣では急激な pH 阻害が起こりやすいため、発酵タンクへの容積負荷を管理するか pH 調整をする必要がある。
関連情報 (図・表・写真等)		<p>食品残渣メタン発酵のイメージ</p> <p>リンゴ加工残渣発酵時のメタン生成</p>
適用可能製品		
技術 シーズ 保有者	氏名 所属・役職	浅野憲哉 環境都市工学科 准教授
技術 シーズ 照会先	窓口 TEL/FAX e-mail	地域共同テクノセンター 026-295-7117 / 026-295-7124 nrtc71@nagano-nct.ac.jp

■知的財産

■試作品状況

無

提示可

提供可

作成日 2018年11月16日